

わが国では消化管悪性リンパ腫は比較的にまれな疾患であるが、これまで癌(特に早期癌)の代表的な鑑別対象として、診断学的な意義のみが前面に位置づけられてきた。言わば徳川 300 年の中に安住していたようなものである。この安寧を打ち破った黒船が Isaacson であり、今から約 15 年前のことになる。この黒船襲来によって消化管悪性リンパ腫をめぐる世の中の動きはまさに激動というべき状況に突入し、旧秩序の崩壊と新秩序への収斂が始まった。この間、様々な混乱と発見とが交錯し、最近、ようやくある程度共通の理解が得られるようになったが、残念ながら、症例ごとの病理学的、臨床的対応を見ると診断医によって様々であるというのが偽らざる現状である。一方、この黒船の襲来は胃悪性リンパ腫が *Helicobacter pylori* 感染を契機とした免疫機構の異常に由来する可能性を教えたが、この画期的な病因論は新たな研究課題を提供するとともに、除菌療法の追求は外科的切除における適応の問題に肉薄し、更には化学療法や放射線療法をはじめとする非外科的

治療の可能性を再認識させるなど、治療の分野においても新たな展開をもたらしつつある。

従来、「胃と腸」増刊号では消化管疾患におけるこれまでの知見を整理し、1つの集大成として著すことを目的としてきたが、消化管の悪性リンパ腫については前述のようにいまだ混沌としており、現時点で十分な整理を加えることは困難である。また、今後日清、日露、世界大戦といった、更に大きな戦いに直面することも十分想定される。そこで、本号では丁度明治維新を彩った写真集のように、悪性リンパ腫における黒船襲来以来の混乱と新秩序への息吹を細かに記録することとし、その判断は歴史に委ねることとした。このため、内容が盛り沢山になってしまい、構成にもやや統一を欠いてしまった。しかし、各論文の内容は澆刺として素晴らしく、企画の悪さを大いに補っていたいただいた。編集を担当したものとして執筆者の先生方に改めて御礼を申し上げるとともに、本号がわが国における消化管悪性リンパ腫の診療に大きく寄与することを期待して稿を終えたい。

胃と腸

発売予定 3月25日
3月号(第33巻・第4号) 予告 定価(本体2,100円+税)

主題／胃癌の診断に X 線検査は不要か

序 説	胃癌の診断に X 線検査は不要か	福大筑紫病院・消化器科	八 尾 恒 良
主 題	—必須とする立場から：拾い上げ診断	金沢医師会	吉田 千尋・他
	—必須とする立場から：早期胃癌の拾い上げ診断(外来診療から)	松山日赤・消化器科	菊池 陽介・他
	—必須とする立場から：表層拡大型胃癌を中心に	済生会熊本病院・消化器科	多田 修治・他
	—必須とする立場から：質的診断	名大・2内	丹羽 康正・他
	—必須としない立場から：拾い上げ診断	北里大・内科	大井田正人・他
	—必須としない立場から：拾い上げ診断	東京都がん検診センター	西沢 護・他
	—必須としない立場から：微小胃癌の内視鏡診断能	昭和大藤が丘病院・消化内	高橋 寛・他
	—必須としない立場から：質的診断	東京女子医大・消化器科	鈴木 茂・他
	—治療の立場から	広島市民病院・外科	二宮 基樹・他
	—治療の立場から	癌研・内科	石原 省・他
	—私はこう考える	多賀領幸男・藤野 雅之・川口 実・浜田 西元寺克禮・長南 明道・杉野 吉則・細川 治・細井 董三	勉・馬場 保昌 測 上 忠 彦
リフレッシュ講座	〈大腸検査法⑤〉注腸 X 線検査と読影上の pit fall	松山日赤・消化器科	

胃と腸 (第33巻 第3号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-0091 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802

E-mail: itocyo @ nna.so-net.or.jp

1998年2月26日発行(毎月25日発行)

1部定価(本体4,400円+税)(配送料180円)

1998年年々ぎめ予約購読料29,600円

(増刊号4,400円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1998, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

• 医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.so-net.or.jp/medipro/igak/igakjhom.htm>

(担当)土田・小松原・小林・長谷川